

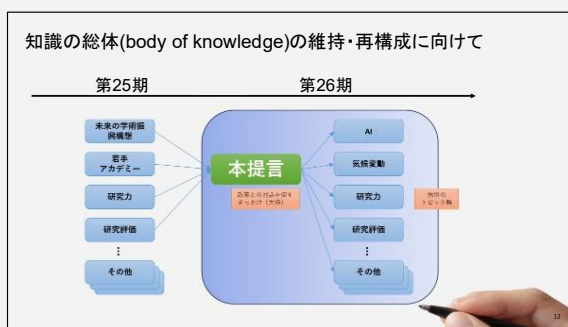
学術フォーラム、シンポジウム企画について

背景と主旨：

第 26 期最初に発出された当分科会の提言を皮切りに、AI に関する提言が出され、研究評価、カーボンニュートラル等の提言等の発出も見込まれ、本提言の末尾でも予告している。これを踏まえて、これまでの提言をパッケージ化した包括的なメッセージを政策立案者や国民に向けて伝える場を持つのはどうか

今後の展望(抜粋)

一方、第26期日本学術会議においては、生成AIや気候変動問題等の喫緊の課題を中心に提言等の準備が進められ、本提言において一部それらを予告し連動する形となっている。社会における情報の統合利用や複合利用が加速していることを踏まえ、今後、本提言及び今後の提言等をネットワーク化したパッケージとして見立て、日本学術会議の包括的なメッセージと捉えていただくことを期待する。



幹事会、記者会見、基本計画専門調査会等で使用したスライド

構成骨子案：

- 挨拶（学術会議、内閣府、文科省等）
- 趣旨説明
- 各提言、見解の紹介（外部機関も含めるか）
- パネルディスカッション
- 閉会挨拶

時期：

今期（2026 年 9 月まで）とし、2026 年 5－6 月が政策立案他との関連から最適か

課題：

- ✓ メッセージとして何を伝えるか→本イベント名に連動
- ✓ 取り上げるべき提言等や外部からの話題提供の選定（上記と連動）